

(1)事業の概要等

事業番号	B2203
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和4年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	食育推進事業					担当部			健康生きがい支え合い推進部		
	事業期間	平成20年度	～	令和4年度		担当課			健康生きがい推進課			
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本 施策	22	展開 方向	3	担当係			健康政策係		
	予算区分	一般会計	款	4	項	1	目	1	大	1	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市食育推進計画					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	食を通じて、健康づくりの推進のほか、豊かな心の育み、環境に配慮した生活を営むことにより、健康寿命の寿命の延伸を図るとともに、持続可能な社会の構築を目指す。										
	対象 (何・誰を対象に)	高齢者から若者まですべての市民										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>○令和3年度の実施内容</p> <p>・小牧市食育推進会議の開催 第3次小牧市食育推進計画の進捗状況を確認するため、小牧市食育推進会議を開催した。 69,300円(食育推進会議委員報酬) ※年2回の開催を予定していたが、緊急事態宣言が発令され、学識経験者などの参画が困難であったため、1回開催</p> <p>・フードドライブの実施 食育推進月間(6月)、食育推進の日(19日)に食育に関する意識の高揚を図り、フードロス削減に取り組むため、小牧市地区民生・児童委員連絡協議会、社会福祉協議会、小牧市善意銀行の協力を得る中で、ドライブスルー型フードドライブを年2回実施した。【①6月18日②12月17日】</p> <p>○経費 R3:70千円(決算) R4:170千円(予算)</p>										
受益者負担	無											

(2)事業費

事業費	項目	単位等	H30	R1	R2	R3	R4	
			直接経費	財源	千円	697	820	77
直接経費	決算額	一般財源	千円	697	820	77	70	
		国・県支出金	千円	-	-	-	-	
		その他	千円	-	-	-	-	
		計(A)	千円	697	820	77	70	
		対前年比	%	—	17	△90	△9	
人件費	予算額	千円	697	877	170	227	170	
	正規職員	人	0.5	0.5	0.1	0.1		
	正規職員(平均賃金)	千円	3,743	3,743	749	749		
	その他職員	人	0	0	0	0		
	その他職員(時給×時間)	千円	0	0	0	0		
	計(B)	千円	3,743	3,743	749	749		
事業費合計(C=A+B)		千円	4,440	4,563	826	819		

(3)業績

展開方向における指標の推移			基本施策	22	展開方向		3
指標名	単位	方向性	基準値	R1	R2	R3	R4
1							
2							
3							

指標	指標ほか		単位		H30	R1	R2	R3	R4
	成果指標	健康寿命(男性)	目標	年		-	-	-	-
実績					80.19	-	-	-	-
健康寿命(女性)		目標	年		-	-	-	-	-
		実績			84.09	-	-	-	-
活動指標	食育推進会議開催数	目標	回		2	2	2	2	2
		実績			2	2	1	1	
	フードドライブ実施数(行政実施)	目標	回		-	-	2	2	2
		実績			-	-	2	2	
単事業あたり	受益者数(a)		人		-	-	-	-	
	受益者あたり事業費(=C/a)		円		-	-	-	-	

(4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの					
	事業の達成状況と課題	<p>食育に関係する団体、機関が、それぞれの役割を踏まえ、着実に食育に関する取組みを実施するとともに、感染対策を意識し、ドライブスルー型のフードドライブを展開するなど定期的にSNSなどを活用し、食育に関する意識の高揚を図った。</p> <p>なお、食育推進計画に掲げる指標が5年に1度実施するアンケート調査に基づくものとなっていることから、評価は出来てない。</p> <p>また、食育に関する多くの取組みが、健康づくりに資するものであるが、計画も食育と健康づくり、それぞれ策定しており、また、推進母体が別々となっていることもあり、効率的かつ効果的に事業推進するあり方を見直す必要がある。</p>						
	今後の実施内容	<p>令和5年度に、食育推進計画と健康こまきいきいきプラン(健康日本21こまき計画)を整理統合し、一体的な計画として策定するとともに、推進母体についても、精査し、健康づくりに重点をおいた食育の推進を図る。令和5年度以降、食育分野を専門的に調査審議する専門部会を設置するが、必要経費については、削減を図る。</p>						
事務事業評価による額	93	千円	節	1	細節	0	細々節	21
7,700円 × 12人 × 1回 = 92,400円								